

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成22年6月17日 (2010.6.17)

【公開番号】特開2006-328012(P2006-328012A)

【公開日】平成18年12月7日 (2006.12.7)

【年通号数】公開・登録公報2006-048

【出願番号】特願2005-156102(P2005-156102)

【国際特許分類】

C 0 7 C 69/54 (2006.01)

C 0 7 C 67/04 (2006.01)

C 0 8 F 20/28 (2006.01)

C 0 7 B 61/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 C 69/54 C S P

C 0 7 C 67/04

C 0 8 F 20/28

C 0 7 B 61/00 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成22年4月26日 (2010.4.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

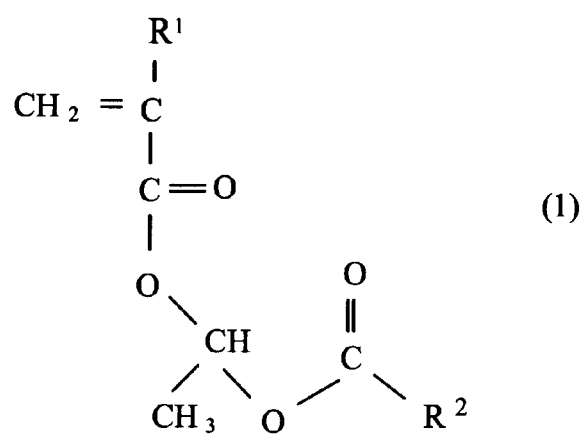
【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 0 】

【化 1】



(式中、 R^1 は、水素原子又はメチル基を示し、 R^2 は、炭素数 1 ~ 6 のアルキル基を示す。)

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 4 1 】

実施例 6

〔前記式(1)で表されるアクリル系化合物(A)の他の製造例〕

攪拌装置、温度計及び還流冷却器を備えた1リットルのフラスコに、アクリル酸144.1g(2.0モル)、酢酸ビニル172.2g(2.0モル)、p-メトキシフェノール0.1g(アクリル酸及び酢酸ビニル全量に対して300ppm)及び濃硫酸2.0g(0.02モル)を入れ、50℃で4時間、攪拌した。

TLCにより、アクリル酸が全て消費されたことを確認した後、炭酸水素ナトリウムを含む水で1回洗浄し、次いで、純水で1回洗浄した。

このようにして得られた有機相を無水硫酸マグネシウムで乾燥した後、p-メトキシフェノール0.1gを有機相に加え、減圧蒸留(0.2kPa、41~45℃)して、無色透明の液状生成物を得た。

この液状生成物の収量は183.4g(理論収率53.5%)であった。

また、前記液状生成物については、実施例1と同様のNMRチャートが得られ、前記式(1)中、 R^1 が水素であり、 R^2 がメチル基であるアクリル系化合物(A)と同定された。